

明けましておめでとうございます。ヒツジにならって、じよんのび一年を過ごしたいものです。本年もよろしくお願いいたします！

◆冬を迎えて春を待つ

師走の小春日和にうとうととしていた報いでしょうか、寒波の襲来で大雪になってしまいました。美術館の駐車場も雪に覆われ、朝から職員総動員で除雪作業に追われています。天気予報で晴れマークを見ると嬉しくなりませんが、まだ冬は始まったばかり。春までにあと何度、雪に悩むことになるのでしょうか。

嘆いてばかりもいられません。スキー三昧だった子供の頃を思い出しながら、冬を楽しくやり過ごす方法を考えているところです。美術館では新年に「雪見展」を開催しますが、どんなイベントになるか心ワクワクです。たくさんの方においでいただき、一緒に冬を楽しく乗り切りましょう。(館長 高橋良一)

◆池田記念美術館賞

『第20回新潟県写真家協会展』『第10回公開審査フォトコンテスト展』(当館での開催は1月30日〜2月4日)の表彰式に館長とともに参加しました。フォトコンテストには、当館でも「池田記念美術館賞」を今年から提供し、三条市の野島俊介さん(写真



介さん(写真)

上)の「初秋爽風」に授与されました。ご本人のインタビューを紹介いたします。「撮影地は磐梯朝日国立公園の縦走路の途中にある頼母木遊難小屋の近くで、来るのに5〜6時間かかる場所」「時期は9月で、地神山の少しピークになったところ」「風とか朝露などを狙いながら写真を撮るが、なかなか写真になりにくい」「朝と夕、夜が撮影時間」「標高の高い場所の自然の激しさの中、花の季節は終わっていたが、白い小さな花がじつと佇んでいた」「動かぬ花を見ながら風を感じていただき、奥にある山を見てほしい」「高校で山岳部と写真部に在籍し、以来60代後半になるまで、山と写真一筋にやってきた」

野島さんの写真のほか、大勢の方々の傑作が当館にやってきました。お見逃しなきようお願いいたします。(岡西英孝)

◆新年の抱負

昨年は南魚沼市市制施行10周年記念事業として、石川雲蝶展と星野富弘展を開催いたしました。雲蝶展では地元の貴重な文化財を紹介しました。また富弘展では富弘氏の詩画作品に感動したとご好評いただきました(写真右下は星野富弘氏の講演会)。

他にも、二科会新潟県会友絵画彫刻展に始まり、県内の美術家の展覧会は瀧澤徳展や村山雨景展がありました。毎年夏の恒例となつて八海山夢展も15回記念展となりました。新しい企画も多く、やりがいのある一年でした。また、2階の展示ロビーも南魚沼市・魚沼市・小千谷市・十日町市と隣接する



開催します。今後も南魚沼の文化を担う一翼としての役割を果たせるように、取り組んでいきたいと思ひます。(広田かおり)

◆花のある暮らし

昨年、押し花展を当館で開催しました。その時に、花の持つ力を何度かお伺いしました。それ以来、地元の方から助けてもらいながら、受付や美術館内のいろいろな所に飾るようになっていきます。華やかな花ではありませんが、その季節に咲いている野の花を上手にいけてもらっています。お客様から花をきっかけに声をかけていただくことも増えました。素朴な季節の草花に我々スタッフも癒されています。

11月の花の詩画展では花の持つ生命力を感じ、慰められ、力づけられたりもしました。喜びや癒しなど、人の心に大きく影響を及ぼすことがあることも、改めて強く実感した展覧会になりました。

美術館だけでなく、自宅でもお仏壇や居間、食卓などに飾るようにしています。花を見て、触れて、香りを楽しみながら、花を愛でる暮らしを心掛け、生活にゆとりを持ち、楽しく豊かな日々を過ごせるような年にしたいと思ひます。(佐藤良子)

◆前向きに切り替えて

今年もつつがなく新年を迎え、慌しくも嬉

しい年明けとなりました。1年を締めくくり、新たな気持ちで春を迎える。年が切り替わると、不思議と晴れやかな気持ちになります。以前は、年末になると何も変わらないまま1年が終わってしまったと思っていました。でも、ある時、友人に「1年間、お母さん頑張ったね」と言われてから、少し意識が変わりました。

大人になると子どもと違って目に見える成長がなくなり、ただただ時間を浪費しているような気がしていましたが、意外と私だつて毎日頑張ってる！と前向きに捉えられるようになりました。冬はどうしても気持ちが沈みがちですが、そんな時はこの言葉を思い出そうにしています。

さて、今年はどうな1年となるでしょうか。皆さまにとって本年もより良い年となりますように。(櫻井多美子)

◆難なり引越し

約5年の新潟生活でした。その間、テレビ、洗濯機、冷蔵庫、レンジ、椅子式炬燵、本棚、洋服箆笥と、それぞれに大変お世話になりました。便利に使わせてもいただきました。ところが、引越しとなると、それらが一気に厄介者になります。持つて帰るか、売ってしまうか、処理するか。身の回りの物を処理しながら考えているうちに、いつの間にか切羽詰まってしまうました。

一括して引き取ってくれるところはないかと生活館に依頼。8000円の値段がつきました。ところが、あれもこれもと、持つて行つてもらいたいのを頼んでいるうち、「タダなら引き取ります」ということに。追い込まれた人間は弱いものです。

こうして一難は去りましたが、今度は東京の大一難が襲いかかります。5年間の留守の間に、すっかり厄介者です。復権やいつ？

(顧問 佐藤吉昭)

こんなに良い場所が、ある！

酒井 建

この写真(左)を見て「神聖な瞬間……言葉が失いますね」と評価してくださった友人があります。元旦にはここ(池田記念美術館)から見ると、八海山の八ツ峰から日が昇りますと説明したら、とても感激なさっていました……。

普光寺の山門に立つと、やはり元旦に八ツ峰から昇る初日を拝めることは、地元ガイドの皆さんが説明してくださるので、県外の方でも知っている方が多いのですが、美術館からもそれが見られることは地元の人でも知らないんです。そんな話をしたら、「ええっ……！ 信じられないです！ それこそ言葉が失いました！」

と、腰を抜かささんばかりの驚き様でした。地元の者が地元を知らないということは、どこにでもたくさんある話です。

あるんですよ、近くにこんないい条件の揃ったところが。

天候次第ですけれどね。

昨年まで、いつも誰も来ないところを正月の初撮りをしていました。

来年の元旦、ここで初日を撮ってみませんか？
(浦佐在住)



池田記念美術館 展覧会&イベント情報

■魚沼ベストショット展 Part IV

◎1階企画展示室・多目的ホール ◎期間：1月9日(金)～1月27日(火)

魚沼に魅せられた写真家が自慢のベストショットを出版。写真による魚沼賛歌！

- 出展者による作品解説会 1月10日(土) 15:00～16:30
- 初心者向け写真教室(参加費無料、デジタルカメラをご持参ください)
1月18日(日) 13:30～15:30

■第20回 NPP 新潟県写真家協会展

【併催】第10回公開審査フォトコンテスト展

◎1階企画展示室・多目的ホール ◎期間：1月30日(金)～2月8日(日)

新潟県写真家協会会員の傑作写真とフォトコンテスト入選者の優秀作品を展示。

■〈魚沼発〉22世紀への^{メッセージ}伝言板 美の先覚者たち

◎1階企画展示室・多目的ホール ◎期間：2月10日(火)～3月3日(火)

戦後の魚沼美術界を先導した画家・彫刻家・書家11人による熱いメッセージ！

- 出展者による作品解説会 2月14日(土)、2月21日(土) 各14:00～

■常設展(日本美術展示室を展示替えしました)

「日本美術展示室」日本最初の女性洋画家であるラゲーズ・玉の油彩画と少女時代の習作、會津八一の書、星襄一の版画、良寛の書、芹沢銈介の型染めなどを展示しています。「小泉八雲展示室」日本文化を深く愛した小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)。小泉家秘蔵の資料約1500点の中から、直筆原稿や公文書、家族との書簡などを展示しています。「スポーツ文化展示室」野球、相撲、オリンピックを中心としたスポーツコレクション。草創期の野球文化を知るユニフォームなど歴史的な展示品を見ることができます。

◎1月のイベント情報

■真冬のクラフトマーケット「雪見展」1月11日(日)～12日(月・祝)9時～17時

1年の始まりに、新しい表現たちと出会う場所。手仕事の作品と美味しいものをそろえて、お待ちしております。展示販売コーナー、ワークショップ、リラクゼーションコーナー、食品コーナー、風の又三郎デッサンコーナー(来場者が彫刻デッサンを楽しむコーナー)など予定。イケビ初登場です！

■池田記念美術館 新年BBMカードショー 1月17日(土)11時～15時

新春を祝ってスポーツカードショーを開催！福袋各種限定販売(5,000円×120個)、一般商品1,000円以上お買い上げ毎にスピードくじ1回実施など、楽しい企画を予定しています。

耳寄り情報

「池田音楽クラブ会員募集」

演奏する楽しみ、聴く楽しみ、サポートする楽しみ……池田記念美術館は音もアートの重要な柱ととらえています。音の大好きな方ならどなたでも大歓迎です。詳しくは美術館までご連絡を。なお、1月の音を楽しむ集いは都合によりお休みさせていただきます。



池田記念美術館賞 野島俊介「初秋爽風」



山本安雄「田園・風」2012年・油彩画

池田記念美術館 南魚沼市浦佐5493-3 (八色の森公園内)
TEL 025-780-4080 / FAX 025-777-3815
【開館時間】9:00～17:00 (入館受付は16:30まで)
【入館料】一般 500円 高校生以下無料
【ホームページ】http://www.ikedart.jp

【1月の休館日】

※冬期休館 1月1日(木)～1月8日(木)
※毎週水曜日(14日、21日、28日)
※24日(土)は催事のため12時閉館となります。
※29日(木)は展示替えのため臨時休館となります。